

レジメン名

Nivolumab+Ipilimumab

出典 オブジーボ®ヤーボイ®適正使用ガイド2020年12月作成
N Engl J Med 2018;378:1277-1290

実施部署区分

☒入院 ☐外来 ☐処置

対象疾患

根治切除不能又は転移性の腎細胞癌

☒進行・再発
☐補助療法(術前・術後)
☐
☐

投与減量の基準

その他			

投与中止の基準

AST	120IU/Lを超える	ALT	120IU/Lを超える
T-bil	1.8mg/dLを超える		
Cr	6.48(女性は4.8)mg/dLを超えるかつベースライン値の1.5倍超		
その他	Grade1以上の肺炎 Grade2以上の心筋炎・下痢・大腸炎・神経毒性・局所的な免疫抑制療法が有効でない眼障害、 Grade3以上の発疹、 症候性の甲状腺機能低下症・甲状腺中毒症・下垂体障害・副腎障害、 副腎クリーゼの疑い、1型糖尿病、		

1クール期間

21日(4クール目まで)
14日又は28日(5クール目から)

総クール数

PDまで

(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1、d8等)
<1-4クール目(3週間間隔)>				
ニボルマブ(オブジーボ)	240mg/body	輸液100mL	30分	day1
イピリムマブ(ヤーボイ)	1mg/kg	輸液30mL※	30分	day1
※希釈後の点滴溶液中のヤーボイの最終濃度が1~4mg/mLになるよう調製 生理食塩液または5%ブドウ糖液50mLから20mLを抜き取り30mLとした輸液バッグにヤーボイ1mg/kgを注入し調製				
<5クール目以降(2週間間隔または4週間間隔)>				
(2週間間隔の場合)				
ニボルマブ(オブジーボ)	240mg/body	輸液100mL	30分	day1
(4週間間隔の場合)				
ニボルマブ(オブジーボ)	480mg/body	輸液100mL	30分	day1

1日投与順
(経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、
溶解液まで含む)

<1-4クール目(3週間間隔)>
day1
①生食50mL (ルート確保用)
②オブジーボ240mg/body+輸液100mL(30分)
インラインフィルター(0.2又は0.22µm)を用いて投与
③生食50mL(30分)
経過観察
④ヤーボイ1mg/kg+輸液(50mL)30mL※(30分)
インラインフィルター(0.2~1.2µm)を用いて投与
⑤生食50mL(フラッシュ用)

<5クール目以降>
(2週間間隔の場合)
day1
①生食50mL (ルート確保用)
②オブジーボ240mg/body+輸液100mL(30分)
インラインフィルター(0.2又は0.22µm)を用いて投与
③生食50mL(フラッシュ用)

(4週間間隔の場合)
day1
①生食50mL (ルート確保用)
②オブジーボ480mg/body+輸液100mL(30分)
インラインフィルター(0.2又は0.22µm)を用いて投与
③生食50mL(フラッシュ用)